4　共同研究員によるパフォーマンス単元計画例

(1)　パフォーマンス単元計画について

パフォーマンス単元計画例（中学校）は十勝教育研究所のホームページ（https://www.tokyoken.net）からダウンロードすることができます。

ルーブリックについては、授業実践を踏まえて、子どもにとって分かりやすいように記述することとしました。

研究所名	共同研究員	学年	教　科	単元名等	ページ
更別村教育研究所	森田　明宏	２年	数学科	平行と合同（１節・２節）	P36
幕別町教育研究所	東　　拓	２年	国語科	短歌の味わい	P37
池田町教育研究所	村上　真輔	３年	外国語科	Project ２　英語で卒業スピーチをしよう	P37
豊頃町教育研究所	辻　真里奈	２年	音楽科	曲想を味わい、表現を工夫しよう	P38
足寄町生涯学習研究所	井元　延明	２年	数学科	平行と合同（１節・２節）	P38

教科名	数　学	学　年	２学年
単元名	平行と合同（１節・２節）	生徒数	１４名
		授業者	森田　明宏

１「深い学び」に向かう子どもの姿

①　知識を相互に関連付けてより深く理解しようとする姿
③　問題を見いだして解決策を考えようとする姿

２　単元の目標と観点別評価規準

・基本的な平面図形の性質について、数学的活動を通し、平行線や角の性質を理解すること、多角形の角についての性質を理解できるとともに、数学的な表現を適切に活用して、基本的な平面図形の性質を見いだしたり、平行線や角の性質を基にしてそれらを確かめ説明したりしながら、今後の生活や学習に活用しようとしている。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
・基本的な平面図形の性質を理解することができる。	・基本的な平面図形の性質を見いだし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確かめ、説明することができる。	・平面図形の基本的な性質を見いだすなど数学的な活動を通して、数学のよさを実感し、粘り強く考え、今後の生活や学習に活用しようとしている。

３　単元で働かせる見方・考え方

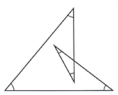
・平面図形の性質や平行線や角の性質に着目して捉え、論理的、発展的に考える。

４　パフォーマンス課題（ワークシート・説明）

複雑な形をした図形の角の和を求め、その求め方を説明しよう。

①

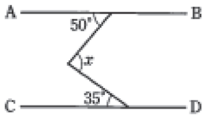
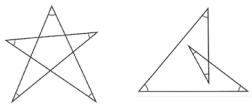
②



５　ルーブリック

A	平面図形の性質や平行線や角の性質を利用するために補助線を活用し、角の和を３種類以上の方法で求めることができ、それを説明している。
B	平面図形の性質や平行線や角の性質を利用するために補助線を活用し、角の和を求めることができ、それを説明している。
C	B基準に達していない。

６　単元の指導と評価の計画（第１節 説明のしくみ・第２節 平行線と角のみ　９時間）

時間	学習課題（◆）主な学習活動（○）	評価の観点【】　評価規準
1	**★パフォーマンス課題・ルーブリックの提示** ◆多角形の角の和を様々な方法で求めよう ○　四角形、五角形、六角形、七角形の内角の和を求める方法を考える。	【知・技】 ・三角形の内角の和が180°であることを基にして見いだすことができる。（ワークシート） 【態度】 ・三角形の内角の和が180°であることを基にして、多角形の内角の和の求め方を主体的に追究しようとしている。（観察）
2	◆多角形の角の和の求め方を説明してみよう ○　多角形の内角の和の求め方を説明する。 ○　公式「n 角形の内角の和　180°×（n－2）」。	
3	◆多角形の外角の和の求め方の説明を考えてみよう ○　五角形の外角の和を基に、四角形と六角形の外角の和を求める。 ○　多角形の外角の和は360°。	【思・判・表】 ・多角形の外角の和の性質を、内角の和を基にして説明できる。（ワークシート）
4	◆２直線が交わってできる角について調べよう ○　対頂角の性質を調べる。 ○　対頂角は等しい。	【態度】 ・操作や観察を通して、対頂角の意味や性質を主体的に追究しようとしている。（観察）
5	◆２直線に１直線が交わってできる角について調べよう ○　同位角、錯角を定義する。 ○　２直線が平行ならば同位角または錯角は等しくなる。 ○　同位角または錯角が等しいなら２直線は平行である。	【知・技】 ・平行線の性質を理解している。（ワークシート）
6	◆平行線の性質をもとに、三角形の角の性質を説明しよう ○　三角形の内角の和は180°になることを証明する。 ○　三角形の外角はそれと隣り合わない２つの内角の和に等しいことを導き出す。	【思・判・表】 ・三角形の角の性質を見いだし、補助線を引くことで平行線の性質を基にして、説明できる。（ワークシート）
7・8	◆複雑な形をした角の大きさを求めよう ★Ⅰ　次の図で、AB // CDのとき、∠x の大きさを３種類以上の方法で求め、その求め方を説明せよ。（ワークシート・口頭説明）  	【知・技】 ・補助線をどのように引くかを理解している。（ワークシート） 【思・判・表】 ・性質を見いだし、補助線を活用し、平行線の性質や多角形の内角・外角の性質を基にして、説明することができる。（ワークシート・説明） 【態度】 ・より多くの方法を考えようと主体的に追究しようとしている。（観察）
9	◆複雑な形をした図形の角の和を求めよう **★パフォーマンス課題（ワークシート・説明）** ○ 次の図で、印を付けた角の和を３種類以上の方法で求め、その求め方を説明せよ。 	【知・技】 ・補助線をどのように引くかを理解している。（ワークシート） 【思・判・表】 ・性質を見いだし、補助線を活用し、平行線の性質や多角形の内角・外角の性質を基にして、説明することができる。（ワークシート・説明） 【態度】 ・より多くの方法を考えようと主体的に追究しようとしている。（観察）

教科名	中学校　国語科	学　年	2学年
単元名	短歌の味わい	生徒数	36名
		授業者	東　　拓

1　「深い学び」に向かう子どもの姿

④　思いや考えを基に創造しようとする姿

2　単元の目標と観点別評価規準

・情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読んで、短歌を創作する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。	・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	・進んで内容を味わい、今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。

3　単元で働かせる見方・考え方

・教科書の短歌に使われている「五感描写」「体言止め」「対比」などの表現技法や、「切れ字」による効果、意外な言葉同士の組合せから生まれる新たな表現の可能性などに着目し、学習したことを駆使して、五句三十一音で表現し、自他の作品のその是非、優劣、効果などについて考える。

4　パフォーマンス課題（発表・説明）

「自分の感動を三十一音で表現し合おう」
学校、友達、自然、家族などのテーマから、自分を見つめ、その気付きや感動を、短歌の形式の「五句三十一音」で表現してみよう。

5　ルーブリック

A	掘り起こした自分の感動や気付きを、「句切れ」「体言止め」「五感描写」「対比」などの表現技法や、意外な言葉の組合せなどを取り入れながら表現している。
B	掘り起こした自分の感動や気付きを、「句切れ」「体言止め」「五感描写」「対比」などの表現技法のうち最低一つまたは、意外な言葉の組合せを取り入れながら表現している。
C	自分の感動や気付きを掘り起こせていないか、掘り起こせてもその感動や気付きを、表現技法や新たな言葉の組合せを使って表現できていない。

6　単元の指導と評価の計画（全4時間）

時間	学習課題（◆）主な学習活動（○）	評価の観点【】　評価規準
1	◆短歌の形式を知り、適切な言葉を考えよう ○　短歌の形式を知る。 ○　「句切れ」とその効果について学ぶ。 ○　教科書の短歌のうち三首について穴埋めになっている言葉を考え、交流する。 **★パフォーマンス課題・ルーブリックの提示**	【知・技】 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を理解している。 （ワークシート）
2	◆選んだ一首について想像しよう ○　短歌における「五感描写」や「対比」、「体言止め」などと、またその効果を確認する。 ○　教科書の十首の短歌のうち、印象に残っているものについて、その作者の置かれている状況や物語を想像し、執筆する。	【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 （観察・ワークシート） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。（ワークシート）
3	◆自分の感動や気付きを短歌にしよう **★パフォーマンス課題（発表・説明）** ○　「少しだけ変えてみる」を読み、言葉の効果について考える。 ○　学校、友達、家族、自然などのテーマで、自分の感動や気付きを思い出し、短歌にする。 ○　今まで学習した技法を自分の作品に取り入れて使ってみよう。 《今までの学習》 「句切れ」で一度切ることによって、自分の感情と情景の二面から表現することができ、重層的な作品になる。与謝野晶子の作品のように、強烈な視覚描写を前面に押し出した「五感描写」や、石川啄木の「体言止め」で余韻を残すのもよい。穂村弘のように「対句的表現」を４つ重ねるのも面白い。また、「ナイフ」と「レモン」、「プール」と「壁」という一見意外な取合せが新しい表現を生むことがある。	【思・判・表】 ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。（発表・説明） 【態度】 ・今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。（発表）
4	◆つくった短歌をお互いに交流しよう ○　仲間の作品を読み、コメントし合う。	【思・判・表】 ・仲間の作品を読んで、表現の効果などを確かめながら、内容を解釈している。 （観察・ワークシート） 【態度】 ・今までの学習を生かして、自他の作品の効果などについて考えようとしている。 （観察・ワークシート）

教科名	中学校 外国語科	学　年	3学年
単元名	Project 2　英語で卒業スピーチをしよう	生徒数	42名
		授業者	村上　真輔

1　「深い学び」に向かう子どもの姿

②　情報を精査して考えを形成しようとする姿
④　思いや考えを基に創造しようとする姿

2　単元の目標と観点別評価規準

・相手に自分のことをより理解してもらうために、自分が伝えたいことを整理し、中学生活をテーマにしたまとまりのあるスピーチをすることができる。

思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
・相手に自分のことをより理解してもらえるために、自分が中学校生活で最も伝えたいことについて、事実や心情を整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話している。 【話すこと（発表）】	・相手に自分のことをより理解してもらえるために、自分が中学校生活で最も伝えたいことについて、事実や心情を整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話そうとしている。 【話すこと（発表）】

3　単元で働かせる見方・考え方

・聞き手を意識して、過去の出来事や、自分の考えを整理して、簡単な語句や文を用いた、表現の仕方を考えることやまとまりのある発表を考える。

4　パフォーマンス課題（発表・説明）

「英語で卒業スピーチをしよう！」

英語で卒業スピーチをするプロジェクトです。中学校生活の思い出を振り返り、“My…”から始まるテーマを考え、１分間のスピーチを行いましょう。

5　ルーブリック

条件１：聞き手にとって分かりやすい構成になっている。
条件２：聞き手にとって新しい情報が含まれている。
条件３：聞き手に分かる語句を使っている。
条件４：まとまりのある内容になっている。

A	４つの条件を満たして、自分の考えや感情を詳しく述べ発表している。
B	４つの条件を満たして発表している。
C	B基準に達していない。

6　単元の指導と評価の計画（全6時間）

時間	学習課題（◆）主な学習活動（○）	評価の観点【】　評価規準
1	◆卒業スピーチのイメージをもとう ○　さやかのスピーチを聞いて、内容を捉える。 **★パフォーマンス課題・ルーブリックの提示**	【態度】 ・卒業スピーチについてのイメージをもち、今後の学習の見通しをもち、取り組もうとしている。（観察・振り返りシート）
2	◆さやかのスピーチを参考にしながら、マッピングを使って、原稿作成の準備をしよう ○　テーマの例として、“My Good Friends”、”My Dream”などの例を参考にする。 ○　マッピングを使って、原稿の準備をする。	【思・判・表】 ・マッピングに書き込みながら、テーマに沿ったエピソードを膨らませるか整理している。 （観察・ワークシート）
3・4	◆原稿を作成しよう①・② ○　ルーブリックと照らし合わせながら、マッピングを基に原稿を作成する。 ○　発表内容には、自分しか知らないことや自分がどう感じたのかなど、聞き手にとって新しい情報を加える。	【思・判・表】 ・既習事項を基に、分かりやすい語句を使って原稿を考えている。 （観察・ワークシート） 【態度】 ・聞き手に伝わりやすい原稿を作成しようと粘り強く取り組んでいる。 （観察・振り返りシート）
5	◆リハーサルをして、原稿の訂正をしよう ○　グループで発表し、スピーチの内容や原稿にアドバイスをし合い、必要があれば自分の原稿を訂正する。	【思・判・表】 ・聞き手を意識して、分かりやすい発表をしている。（発表・ワークシート） 【態度】 ・発表をよく聞き、よりよい発表にできるようお互いに助け合おうとしている。 （観察・振り返りシート）
6	**★パフォーマンス課題（発表・説明）** ◆卒業スピーチをしよう ○　６名のグループで行う。聞き手の５名は発表を評価して、一言ずつ感想を述べる。	【思・判・表】 ※　ルーブリック参照

教科名	中学校 音楽科（歌唱）	学　年	2学年
単元名	曲想を味わい、表現を工夫しよう	生徒数	26名
		授業者	辻　真里奈

1　「深い学び」に向かう子どもの姿

①　知識を相互に関連付けてより深く理解しようとする姿
④　思いや考えを基に創造しようとする姿

2　単元の目標と観点別評価規準

・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。
・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。
・歌唱表現に関わる曲想と音楽の構造の知識、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせる技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。
・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
・曲想と旋律のまとまりや音楽の構造との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かし、他の声部の声や伴奏などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	・歌唱表現に関わる知識（曲想、旋律のまとまり、音楽の構造との関わり）や技能（他の声部の声、伴奏などを聴きながら他者と合わせて歌う）を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

3　単元で働かせる見方・考え方

・音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、旋律の決まりや音楽の構造とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情と関連付けて考える。

4　パフォーマンス課題（表現の説明・説明）

「表現を工夫して歌おう」
「ほらね、」は卒業式の在校生合唱で卒業生に向けて歌う曲です。これまでお世話になった卒業生に対してどのような思いを伝えたいか、どのような表現の工夫をしたらよいか考えてみよう。工夫した表現を、説明してから実際に歌ってグループごとにパート内で発表し合います。

5　ルーブリック

A	卒業生に対して伝えたい思いを、曲想と音楽の構造との関わりを意識し、伴奏などを聴きながら他者と合わせて歌い、曲によりふさわしい歌唱表現を創意工夫している。
B	卒業生に対して伝えたい思いを、曲想と音楽の構造との関わりを意識し、伴奏などを聴きながら他者と合わせて歌い、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。
C	B基準に達していない。

6　単元の指導と評価の計画（全5時間）

時間	学習課題（◆）主な学習活動（○）	評価の観点【】　評価規準
1	◆卒業式に歌う歌について知ろう ○　曲想と歌詞の内容について理解する。 ○　各パートごと音程の確認をする。 ○　パート内でグループを決める。 **★パフォーマンス課題・ルーブリックの提示**	【知・技】 ・曲想と旋律のまとまりや音楽の構造との関わりについて理解している。 （歌唱・観察）
2	◆どのように歌いたいか考え、表現を工夫しよう ○　卒業生にどんな思いを込めて、在校生合唱を歌いたいか考える。 ○　そのために必要な「表現の工夫」をパート内で考える。 ○　各グループに分かれ、選択した表現を練習する。授業の最後に演奏している動画を iPad で撮影する。	【思・判・表】 ・歌唱表現に関わる知識（曲想と旋律のまとまりや音楽の構造との関わり）や技能（他の声部の声や伴奏などを聴きながら他者と合わせて歌う）を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 （観察・動画） 【態度】 ・曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。 ・自分の演奏を見て振り返り、他者からの助言を参考にしたりしながら、身に付けようとして取り組んでいる。（観察）
3	◆自分達の演奏をタブレットで見てみよう ○　iPad で動画を確認し、工夫した表現ができているか確認する。 ○　他のグループを見て表現の工夫を交流し、アドバイスし合う。	【思・判・表】 ・「ほらね、」の曲想や音楽の構造を感じ取り、どのように歌いたいか思いや意図をもっている。（ワークシート） 【態度】 ・「ほらね、」の歌詞が表す情景や心情に関心をもっている。 ・表現を考える活動で、曲にあった表現をしようと積極的に取り組んでいる。 （観察・ワークシート）
4	◆「表現を工夫して歌おう」 **★パフォーマンス課題（表現の説明・発表）** ○　パート内でグループの発表を聴き、できそうな表現をワークシートに記入する。	【思・判・表】 ・曲想と音楽の構造との関わりや伴奏などを聴きながら他者と合わせて歌いながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 （説明・発表） 【態度】 ・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。（観察）
5	◆工夫した表現を生かしてパートで歌ってみよう ○　前時で確認した表現工夫を生かしながらパートで歌唱する。全体で発表し合う。	【知・技】 ・創意工夫を生かし、他の声部の声や伴奏などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。（歌唱）

教科名	中学校　数学科	学　年	2学年
単元名	平行と合同（1節・2節）	生徒数	29名
		授業者	井元　延明

1　「深い学び」に向かう子どもの姿

①　知識を相互に関連付けてより深く理解しようとする姿
③　問題を見いだして解決策を考えようとする姿

2　単元の目標と観点別評価規準

・平行線や角の性質を理解し、それに基づいて図形の性質を確かめ説明することができる。
・平行線の性質や三角形の角についての性質を基にして、多角形の角についての性質が見いだせることを知る。

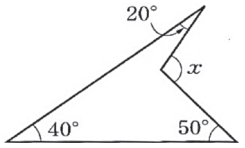
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
・対頂角、同位角、錯角の意味を理解している。 ・平行線や角の性質を理解している。 ・内角、外角の意味を理解している。 ・多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。	・基本的な平面図形の性質を見いだし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確かめ説明することができる。	・平面図形の性質を考えようとしている。 ・平面図形の性質について、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。

3　単元で働かせる見方・考え方

・平行線や角の性質などの根拠を基に筋道を立てて考え、論理的に推論する。

4　パフォーマンス課題（ワークシート・説明）

ブーメランの角度（∠x）の求め方を考えて、説明しよう。

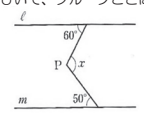
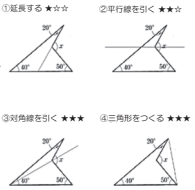


補助線の引き方により、難易度★☆☆～★★★がある

5　ルーブリック

A	ブーメランの角度の求め方について、自分で選択した補助線に加えて、指定された補助線の図（難易度★★★）においても、根拠となる図形の性質を明らかにしながら、口頭にて説明している。
B	ブーメランの角度の求め方について、自分で選択した補助線を利用し、根拠となる図形の性質を明らかにしながら、口頭にて説明している。
C	Bの基準に達していない。

6　単元の指導と評価の計画（第1節 説明のしくみ・第2節 平行線と角のみ　8時間）

時間	学習課題（◆）主な学習活動（○）	評価の観点【】　評価規準
1	○パフォーマンス課題を確認し、単元を見通す。 **★パフォーマンス課題・ルーブリックの提示** ◆四角形・五角形・六角形・七角形の内角の和を考えよう ○　対角線を引いて、三角形の数から内角の和を求める。 ○　求めた内角の和から n 角形の内角の和の求め方を考える。	【態度】 ・対角線を引いて、三角形の数から内角の和を考えようとしている。（観察・ノート）
2	◆四角形・六角形の外角の和を説明しよう ○　四角形か六角形の外角の和を内角の和を基にして求める。	【思・判・表】 ・四角形、または六角形の外角の和の説明を書くことができる。（観察・ノート）
3	◆対頂角・同位角・錯角などの意味と性質を理解しよう ○　対頂角の意味と性質を理解する。 ○　同位角・錯角の意味を理解する。 ○　内角・外角・対頂角に関する演習問題を解く。	【知・技】 ・対頂角・同位角・錯角の意味や性質を理解している。（観察・ノート）
4	◆平行線のときの性質について考えよう ○　平行線と同位角・錯角の関係を理解する。 ○　平行線に関する演習問題を解く。	【知・技】 ・平行線における同位角や錯角の性質を理解している。（観察・ノート）
5	◆三角形の外角の求め方を考えよう ○　三角形の内角や外角に関する性質を、平行線の性質などを用いて論理的に確かめる。 ○　三角形の内角や外角に関する演習問題を解く。	【態度】 ・平面図形の性質について学んだことを今後の学習に生かそうとしている。 （観察・ノート）
6	◆補助線の引き方を考えよう ○　補助線をひいて、グループごとに∠xの求め方を考える。  	【知・技】 ・これまで学習してきた平面図形の性質を根拠にして、∠xの大きさを求めることができる。 （観察・ノート）
7	◆ブーメランの角度の求め方を考えよう ○　ブーメランの角度の求め方を難易度別に考える。 ○　ワークシートに根拠となる事柄を明らかにしながら、角度の求め方の説明を記入する。 ①延長する ★☆☆　②平行線を引く ★★☆ ③対角線を引く ★★★　④三角形をつくる ★★★ 	【思・判・表】 ・難易度別の補助線の図において、根拠となる図形の性質を明らかにしながら説明を書くことができる。（ワークシート）
8	**★パフォーマンス課題（口頭説明）** ○　自分で選択した補助線や難易度★★★の図において、根拠となる図形の性質を明らかにしながら説明する。	【思・判・表】 ・自分で選択した補助線に加えて、難易度★★★の図においても、根拠となる図形の性質を明らかにしながら、口頭にて説明している。 （口頭説明）